



〒100-0001 東京都千代田区千代田2-2-10
 TEL: 03(430) 7151 FAX: 03(430) 7152
 E-MAIL: info@denka.co.jp
 印刷部 TEL: 03(430) 7151 FAX: 03(430) 7152
 編集局 TEL: 03(430) 7151 FAX: 03(430) 7152
 広告部 TEL: 03(430) 7151 FAX: 03(430) 7152

THE DAILY ENGINEERING & CONSTRUCTION NEWS

建設工業新聞

10月10日 水曜日

2018年(平成30年)

第19623号

E

(第3種郵便物認可) 報 合

明治維新150年と治水の歴史

竹林 征三

江戸時代の1時期、江戸、大坂、京都の三都はいずれも40万人近い人口であったが、その後江戸は百万都市になっていく。明治維新に伴い都も京都から東京へ移って、京都の街は「一挙に」地方都市となり寂れ、明治8(1875)年には人口も22万6000人と半減してしまった。田辺朔郎回顧録に「昔日の盛況を挽回する見込みも北で中空空たうけ 三条の北でもしか人家がなく、二条以北は稀然たる郊外 露上から鴨川まで人家は一、二軒のみ」と京都市内の様子が記されている。京都府の第三代知事となつた北垣国道は、寂れて一地方都市になった京都を蘇生させる一大プロジェクトとして、田辺朔郎の卒業論文「琵琶湖疏水」の実現に生命をかける。そして、琵琶湖疏水の表現在る

琵琶湖疏水の表現在る若き田辺朔郎に託す。滋賀県令の籠手田安定は、「地方官の本分は法と職権の許す限り、任地の殖産と民衆の利益擁護に全力を傾けるにあり」との信念で、県内の治水・治山事業、輸出品の増産増進、興業、独自政策の推進を政策として掲げていた。そして、生じた湖水の落差を動力源として各種製造工業を立地させ、

三、田畑灌漑かんがい 点張りであった。籠手田由良令の反撃が始まった。まず、県の「勤業路開会」を召集し、可否の採決を採った。その結果は、予想通り44名中40名が県にとって有害という採決となった。籠手田由良令は「本県に於ける一利便を得るごときなきまで到底有害無益なり」として到底有害無益なりと中央政府へ上申した。また、県民から工事反対の連署書が提出される。一方、洋行帰りの工部省の大書記官で土木について素養のある人物で、このような経緯を経て琵琶湖疏水は実現した。

《参考文献》『物語日本の治水史』鹿島出版会
 《常葉大学名誉教授、風土工学デザイン研究所会長》
 週一回掲載

① 北垣国道と籠手田安定、地域第一主義の戦い
 豪商で大阪商工会議所会頭、五代友厚の影響があった。歴史的経緯のある京都経済圏の束縛から逃れ、積極的に阪神と直結したいとの構想を強く持っていた。このことについては、大津の園城寺境内に建立されている「籠手田君頌徳(しょうとく)之碑」に詳しく刻されている。

北垣知事は琵琶湖疏水計画を籠手の時説明に琵琶湖疏水の効用として、以下の点が挙げられていた。
 一、運輸の事(通船による一貫輸送)
 二、製造機械の事(導水による落差を動力源とする各種製造工業を立地させる)
 三、衛生に関する事(濁水で汚れる市内水路の清浄)
 四、井泉の事(もっぱら井戸水に頼る市民の生活用水の補給)
 五、火災防慮の事(過去京都に頻発した大火の再発を防ぐ防火用水の確保)
 六、利便を得ることなきまで到底有害無益なりと中央政府へ上申した。また、県民から工事反対の連署書が提出される。一方、洋行帰りの工部省の大書記官で土木について素養のある人物で、このような経緯を経て琵琶湖疏水は実現した。